

7月25日（木）に開催された実践研究部会での活動を紹介します。

今回の参加者のみなさん

【今年度初参加の先生方】

瀧田健司先生（神沢中）、表 普一先生（東陵中）
阿比留慶治先生（山王中）、丹羽良平先生（当知中）
山下剛史先生（沢上中）、富田大介先生（名南中）
小比賀正規先生（扇台中）、永治友希先生（吉根中）
樽見 宗先生（有松中）、加藤真奈美先生（豊国中）
旦野智啓先生（北中）

今年度初参加の先生が3名いらっしゃいました。



東陵中

表 普一先生



名南中

富田大介先生



有松中

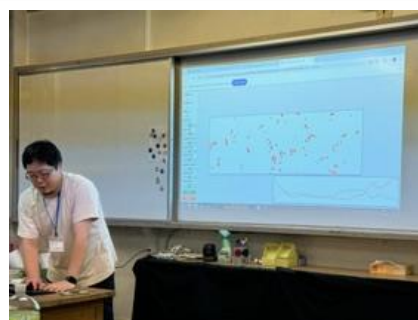
樽見 宗先生

授業作りアイデア

扇台中学校の小比賀正規先生から、授業作りのアイデアとして、「ChatGPTを使った理科教材の開発の方法」について紹介がありました。参加者が持参したタブレットで実際にChatGPTを使い、中2の生物単元で行うヒトの反応速度を調べる実験のための「反応速度計測ソフト」（画面の色が変わってから、クリックするまでの速度を計測する）を作成しました。

他にも自作アプリの例として、振動数ジェネレーター（任意の振動数の音を発生させる）、振動数計測アプリ（マイクから入ってきた音の振動数を計測する）、生態系シミュレーション（大型肉食動物、小型肉食動物、草食動物、植物の個体数など条件を設定し、個体数の変化をシミュレーションする）なども紹介していただきました。

今回紹介していただいたアプリは、Microsoft Teamsからダウンロードすることができます。興味がある方は、コード「n36de8d」を使用してMicrosoft Teamsに参加し、「0725」のチームのファイルからダウンロードしてみてください。



【アプリを紹介する様子】

秋の授業公開について

秋の授業公開の手だてである「単元を貫くパフォーマンス課題の提示」「単元内自由進度学習」について、様々な意見を交換しました。

- 個人の課題とグループの課題の扱いについて。
- より効果的なパフォーマンス課題の提示の仕方について。
- 自由進度学習におけるグループについて。
- 自由進度学習におけるプレゼンは、どのようなタイミングで行うべきか。
- 自由進度学習で漏れてしまった学習内容について、どのようにフォローするか。

名理会 秋の授業公開

令和6年10月25日（金）午後 場所：港北中学校 授業者：佐藤 友哉先生
実践単元：中1「単元3 身近な物理現象 1章 光の性質」